

令和3年度 千葉県総合教育センター懇談会

1 千葉県総合教育センター懇談会について

(1) 懇談会について

千葉県総合教育センター懇談会運営要項 ————— (別紙1)

(2) 懇談会委員について

令和3年度千葉県総合教育センター懇談会委員名簿 ————— (別紙2)

2 令和3年度懇談会について

(1) 目的

千葉県総合教育センターが以下の主要事業について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について、内部評価（自己評価）を実施し、その結果の公表・説明により説明責任を果たすとともに、センター懇談会委員からの理解と助言を得て、効率的・効果的な行政運営に向けて改善を図る。

【4つの主要事業】

- A 調査研究事業
- B 研修・能力開発事業
- C 学校支援事業
- D 教育相談事業

(2) 懇談会の概要について ————— (別紙3)

ア 第1回懇談会概要（令和3年6月18日実施）

イ 第2回懇談会概要（令和4年2月 4日実施予定）

別紙 1

千葉県総合教育センター懇談会運営要項

(趣旨)

第1条 これは、千葉県総合教育センター懇談会（以下「懇談会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(業務)

第2条 懇談会は、本センターの主要事業の目標及びその実現のための具体的な取組について説明し、理解と助言を得ることを目的とする。

(組織)

第3条 懇談会の委員は、次の各号に掲げる者をもって充てる。

- (1) 教育界における学識経験のある者
- (2) 学术界及び文化界における学識経験のある者
- (3) 産業界及び勤労界における学識経験のある者

(会長及び副会長)

第4条 懇談会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、会務を総理し、懇談会の議長を務める。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、その職務を代理する。

(召集)

第5条 懇談会は、必要に応じて所長が召集する。

(庶務)

第6条 懇談会の庶務は、千葉県総合教育センター職員が処理する。

(委任)

第7条 この要項に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、懇談会が定める。

この要項は令和3年度の事業に適用する。

別紙2

令和3年度 千葉県総合教育センター懇談会委員名簿

氏名	所属
おおき ひろし 大木 弘	千葉県都市教育長協議会会長 (印西市教育委員会教育長)
まきの けいいち 牧野 敬一	千葉県町村教育長協議会副会長 (白子町教育委員会教育長)
やました しゅういちろう 山下 秋一郎	県小学校長会副会長 (富津市立青堀小学校長)
ながしま けん 永島 謙	県中学校長会副会長 (茂原市立茂原中学校長)
やじま よしふみ 矢島 義文	県高等学校長協会副会長 (県立幕張総合高等学校長)
かねさか きょうこ 金坂 京子	県特別支援学校長会副会長 (県立大網白里特別支援学校長)
いちかわ ひでゆき 市川 秀之	千葉大学教育学部准教授
かとう じゅんこ 加藤 順子	千葉県教職員組合教文部長
こくぼ はじめ 小久保 元	教育NPOちば理事長
はたけやま いちお 畠山 一雄	一般社団法人 全千葉県私立幼稚園連合会会長 (学校法人畠山学園はまの幼稚園理事長)
わたなべ しげき 渡部 茂樹	一般社団法人千葉県経営者協会専務理事

別紙3

令和3年度 第1回千葉県総合教育センター懇談会 概要

日時：令和3年6月18日（金）
 午後2時から午後4時まで
 会場：千葉県総合教育センター
 メディア教育棟 大ホール

＜出席者＞

大木委員 山下委員 永島委員 矢島委員 金坂委員 市川委員 加藤委員 小久保委員
 畠山委員 渡部委員 （欠席：牧野委員）
 酒井所長 新井次長 大矢次長 朝倉研修企画部長 丸山カリキュラム開発部長
 中村学力調査部長 小倉特別支援教育部長 木下主席研究指導主事 福中主席研究指導主事
 鈴木主席研究指導主事 齋藤主席研究指導主事 長束主席研究指導主事 山本研究指導主事
 山口研究指導主事 山中研究指導主事 長島研究指導主事 糸井研究指導主事
 植草研究指導主事 茂住研究指導主事 中根研究指導主事 内藤副主幹

センター懇談会委員からの協議・質問・意見・要望

発言者	内容（◇：ご質問 ◆ご意見 ○：回答）
<p>A 調査研究事業</p>	
委員	<p>幼児教育の充実に向けた、総合教育センターの役割について ◇知事の県政ビジョンに、「子育て世代の知事として『小さな手に大きな未来を』とあるが、総合教育センターとしての役割をどのように果たすのか。また、質の高い幼児教育の実現に向けて、どのように研修・研究を行っていくか。</p>
部長	<p>○幼児教育の質的向上を促進するため、当センターに幼児教育アドバイザーを配置し、幼児教育に係る指導・研修体制の充実を図っている。幼児教育アドバイザーは、研修での講師を務める他、市町村及び幼稚園・保育所・学校等からの要請を受けて派遣され、教職員等への支援・助言を行っている。</p>
委員	<p>◇研究についてはいかがか。説明の中では自己有用感という言葉があった。第3期千葉県教育振興基本計画では、千葉県教育の目指す姿として、自己肯定感・自尊感情の向上が掲げられている。</p>
部長	<p>○県の施策や知事の発言を踏まえて、研究を精査していく。次年度以降に向けて期を逸さないように調査研究を進めていく。今年度から始まる「教員の資質・能力の向上を図る能動的自立研修の活性化に関する研究～ちばの先生スキルアップツール 幼稚園等教諭版の改訂を通して～」や『『好ましい人間関係をはぐくむ学級づくり』に関する研究～『学級づくりガイドブック』再編集を通して～』では、前回調査分を踏まえて取り組んでいきたい。</p>

B 研修・能力開発事業

「働き方改革」について

委員

◇教員の働き方改革に係る研修や調査研究は考えているのか。

部長

○新任校長研修、新任教頭研修等の講座として研修を行っている。

Web 会議システムの使用について

委員

◇公立の小中学校で zoom が使用できない市町村があるのではないかと。

班長

○全ての市町村で zoom が使用できる環境にないことは承知している。非常に大きな課題と考えている。市町村のセキュリティの関係で使用できないので、使用できるよう市町村に働きかけているところである。

部長

○Asttra での資料配信においても、今年度になって 3 市で不具合があるとの報告を受けている。市町村のセキュリティについて変更があったものとする。それらの市には、データ等の送付で対応しているところである。

「今日的課題に対応する研修」について

委員

◇研修の申込み状況について伺いたい。

部長

○希望研修（128）では、第一次の定員を超えたものは 27 であった。定員に満たない研修は再募集を行った。小学校・中学校の申込みが減っている。

委員

◇現代的な課題は希望が多いのではないかと考えて質問をした。

委員

◆希望研修の申込みが減ったことについて、感染症の拡大状況やオリンピックの開催など、学校の年間行事予定が例年と異なっていることや流動的であることも一因ではないかと考える。研修に申し込みたかった方も多いのではないか。若年層の人材育成はどの学校種においても課題であるが、勤務時間内では難しいところもあるので、センターの研修には期待している。

<p>委員</p> <p>部長</p> <p>委員</p> <p>部長</p>	<p>C 学校支援事業</p> <p>「オリンピック・パラリンピック」について</p> <p>◇パラリンピックで千葉県では4競技が開催される。これを契機に、障害者スポーツへの理解など共生社会の実現について力を入れていかなければならないのではないかと。教員の働き方改革もそうだが、現代的な課題について取り上げていく必要があるのではないかと。</p> <p>○新任校長研修・新任教頭研修等において共生社会の実現や特別支援教育に係る講座を設けている。子供たちが、障害のあるなしに関わらず、よりよい社会を形成できるようにしていくことは重要である。幼稚園・小学校・中学校・県立高等学校の教職員等が特別支援教育に係る研修を希望できるようになっているので、少しでも広めていきたい。</p> <p>「インクルーシブ教育」について</p> <p>◇特別支援教育については、どの教職員でも専門性を高めていけるような研修が求められているのではないかと。立場の異なる様々な人との共存型の研修が必要だと考える。</p> <p>○中堅教諭等資質向上研修Ⅰでは、特別支援教育について、子供の生活の変化を踏まえた課題や、子供の発達に関する最新の知見を踏まえた研修を行っている。</p>
	<p>D 教育相談事業</p> <p>(特になし)</p>

	<p>その他</p> <p>「初任者研修」について</p> <p>委員 ◇初任者研修で、eラーニングのレポートが多くて負担になったとの声があった。必要性は分かっているが軽減や削減ができないか。また、学校現場を離れなくてよいというメリットは感じるが、授業等を行った上で、eラーニングの研修を受けている実情もあると聞いている。関係機関に働きかけていただきたい。</p> <p>委員 ◇Asttra について、研修の履歴が可視化されて研修に対する教職員の意欲向上が図れるのはよいことである。教職員が積極的に活用できるよう、ログインやロックの解除等を簡単にするなどの手立てを講じていただきたい。</p> <p>アフターコロナの研修について</p> <p>委員 ◇オンライン研修によって、様々な研修の参加者が飛躍的に増えた。しかし、対面だからこそ意見交換が深まったとの意見もある。検討してほしい。</p> <p>部長 ○初任者の研修時間の確保について、資料配信は後補充のある日に見られるように工夫をしている。校長等説明会において、初任者の研修の時間と環境整備について配慮いただきたい旨、説明している。また、文書通知している。</p> <p>○Asttra については、昨年度からの本格運用で、様々な課題があることは承知している。学び続ける教職員を支えるため、より使いやすい形にしていきたい。</p> <p>○ハイブリッド型の研修について、研修の在り方を考えていきたい。</p>
--	--